

NPO法人古賀志山を守ろう会活動記録

活動日	令和4年8月25日(木)		活動場所	古賀志山・福岡町細野山周辺	
活動内容	ポスター付設				
参加者	大出 忠	村田 鉄三	増田 弘文	野尻 喜一	
	平野 昭夫	奈良 忠男	佐野 久雄	長嶋 幸雄	
	原田 昌廣	池田 正夫			



昨今、「植物の盗掘」と「お花摘み」の問題がクローズアップされていた。市観光課に注意喚起を促すポスターを依頼したところ出来上がったので必要な箇所に掲示した。

これらの注意書きが問題解決の抑止力になれば幸いである。

今、古賀志山は諸問題が山積し、従来では考えられなかったことが次々と起こっている。

過日、大きなスイカを持ち上げた登山者が、食べ残しの皮をそのまま置いていくという見苦しい光景があり、登山者のモラルの欠如を感じる。

また、登山者の中には、当会に問題点を指摘するだけで自分からは対処しない方もいる。登山者一人ひとりが取り組んでいただければと感じる。



古賀志山頂の「三角点標石」とセットになっている「白色標示杭」の破損に気づき、臨時の修理を行った。



会員各位の協力によりポスターの付設を行った。地道な活動であるが、一つ一つ解決しなければならない。

市観光課には更に追加作製をお願いして必要個所に付設したい。

コロナ渦においても古賀志山への登山者は減少していない。登山者の世代交代期に差し掛かっている感じがする。登山者にあるまじきモラルの低下が目立つ昨今である。